



ごまのはえ

劇作家・演出家
ニットキャップシアター代表

プロフィール

ごまのはえ [劇作家・演出家、ニットキャップシアター代表]

1977年大阪府生まれ。劇作家、演出家。1999年自身が劇団代表となって「ニットキャップシアター」を設立。以来、京都を創作の拠点に日本各都市で公演をおこなっている。楽器や仮面など様々な表現手段でイメージーションあふれる表現を追求する一方、「街の記憶」をテーマに地域の歴史や文化を題材にした創作も行っている。2004年『愛のテール』でOMS戯曲賞大賞受賞。2005年自身の故郷大阪府枚方市を題材にした『ヒラカタ・ノート』でOMS戯曲賞特別賞受賞。2022年サハリン（樺太）の100年の歴史を描いた『チェーホフも鳥の名前』で希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」。得意料理はカオマンガイ。一般社団法人毛帽子事務所所属。

これまでのリージョナルシアター事業の派遣先 (年度/実施団体/主会場)

- 2022年度 泉大津市 (あすとホール) 【大阪府泉大津市】
- 2021年度 枚方市 (枚方市総合文化芸術センター) 【大阪府枚方市】
中央設備ステージ・ラボ共同体 (荒尾総合文化センター) 【熊本県荒尾市】
- 2019年度 (株)けいはんな (京都府立けいはんなホール) 【京都府】
- 2018年度 西和賀町 (西和賀町文化創造館) 【岩手県西和賀町】
- 2017年度 (公財)舞鶴市文化事業団 (舞鶴市総合文化会館) 【京都府舞鶴市】
- 2016年度 (公財)大野城まどかぴあ (大野城まどかぴあ) 【福岡県大野城市】